

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名：きしゃぼっぽ川西

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	学年の高い利用者の多い日は狭く感じることもあるが、整理整頓しスペースは確保できている。	現状を維持する。
	2 職員の適切な配置	配置基準は満たしています。	現状を維持する。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	階段などにも手摺をつけたりして対応しています。	現状を維持する。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日掃除をしている。空気清浄機を設置し、換気を心がけている。入室時に手指の消毒を促している。	毎日の掃除を今後も徹底する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	社内で年間の目標管理、業務改善点等について管理職と面談を持っている。	現状を維持する。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	自己評価、保護者評価をもとに、改善点を見つけ、業務改善に繋がるように検討しています。	現状を維持する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修会などに出席に、それをスタッフに周知しています。	今後も外部研修への参加を促し実施。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	児童と保護者様からヒアリング等を実施し作成している	現状を維持する。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	それぞれに各利用者の実態を分析し、課題を設定した支援計画を作成している。	職員同士でしっかり話し合い、支援計画の作成に努める

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	学習面と行動面の実態と様子、それに対応して具体的な支援を記載する個別支援計画書を6ヶ月ごとに作成している。	職員同士でしっかり話し合い、支援計画の作成に努める
適切な支援の提供 （続き）	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画書、サービス利用計画書をファイルに綴じて担当者がいつでも見られるようにしている。	現状を維持する。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案		職員同士でしっかり話し合い、児童が楽しく参加できるように計画に努める
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、休日などと別々には考えてなく、どの日でも同じようにしています。	現状を維持する。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施		大まかなプログラムは固定化していますが、その中で少しずつ変化を加えるようにしています。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝のミーティングで共有している。	現状を維持する。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	夜のミーティングで共有している。	現状を維持する。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日報や日誌にて児童の記録を残している気になる点は共有を行っている	現状を維持する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にモニタリングを行い見直し必要があれば実施しています。	現状を維持する。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	参加できるのは参加しており、相談支援員との話し合いなどにも対応しております。	現状を維持する。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、医療的ケアの必要な児童は受入をしていません。	
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、医療的ケアの必要な児童は受入をしていません。	
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	本人中心支援会議の場などで共有しております。	必要に応じて随時行っていく。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	求めに応じて対応させていただきます。	必要に応じて随時行っていく。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	機会があれば参加させていただいています。	必要に応じて随時行っていく。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は放課後児童クラブや児童館との交流の場は持っていません。	必要に応じて随時行っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域住民を招待するような事業を開催する機会が持てていない。	必要に応じて随時行っていく。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明しています。	契約時以外でも不明点は随時対応。引き続き、丁寧な説明を心掛ける。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援内容の評価と新たな目標を保護者と相談している。	現状を維持する。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・ペアレントトレーニング等のスキル保持者がいない為、未実施です。	ペアレントトレーニング等のスキル保持者がいない為、未実施ですが、アドバイス程度はさせてもらっています。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や、送迎時に、気づいた事等はその都度伝えることをしている。	現状を維持する。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	問い合わせがあった時には適時対応、必要に応じて面談を設定している。	現状を維持する。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		・以前から要望は伺っていましたが、実施には至らずです。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情解決にむけて迅速に対応しますが、内容によっては、第三者に仲介に入ってもらうこともあります。	現状を維持する。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡帳や電話、メールでの連絡で情報を伝達している。	現状を維持する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	ブログで発信させていただいています。	現状を維持する。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	漏洩がないよう厳重に管理に努めています。	現状を維持する。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	職員間では共有しているが、保護者への周知ができていません。	現状を維持する。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	救出その他必要な訓練の実施 年に1回しておりますが、1回なのですべての利用者ができてはいない状態です。	現状を維持する。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	講習会などに参加、および、他職員にその内容を周知しています。	引き続き社内、社外での勉強会に参加し、意識を高める
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を必要とする利用者はいない。	今後も拘束がないよう留意する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	家庭からの聞き取りにより、料理やイベントの時に対象の利用者の食べられる物を考慮している。	現状を維持する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	朝、夜のミーティングで共有している。	引き続きヒヤリハットの事例を残していく。